



みらいん

みやぎの

「みらいん」は、
震災からの復興に向けて
歩むまち・仙台の“ひと”と“地域”の
今を結ぶ情報紙です。



今月の
ひと

愛車で地域に貢献する
南蒲生のご意見番

人と人とのつながり
合言葉は「報・連・相」

「何ごとも、報告・連絡・相談が大事です。これからのまちづくりについてもね」。威勢のいい声で話す南蒲生のご意見番こと、町内会総務・阿部勇さんの一日は、朝のラジオ体操と町内の見回りから始まります。朝の日課は、妻のいみ子さんと愛犬クロが一緒。夕方の見回りも含めて、不法投棄などのごみ問題、危険箇所など気付いたことを町内の会合で報告し、改善していきます。

母・妻・娘と、家族三人が津波被害に遭いながらも生かされた経験は、その後の勇さんの行動に影響を与えました。「頂いた命に感謝し、皆さんの役に立つことを」と、地域再建に努めます。大型バスを購入したのも、住民のために貢献したいという気持ちの表れでした。交通手段に苦慮する檀家さんを仮設住宅から専能寺へ送迎したり、市内の避難施設や被災他市町の視察へ地域の皆さんを案内することにも役立てています。また、災害時の避難を考えて備蓄品は定期的に点検し、朝夕には車体の整備も欠かしません。

町内で福島県の方々と交流する

計画が浮上し、今月も勇さんの

「愛車」が送迎に活躍します。

2013
8月

蒲生海岸周辺のこれから

蒲生海岸周辺に暮らしていた方々にとって、蒲生干潟や七北田川河口部付近の今後の変貌は気になることでしょう。地域ゆかりの方々から海岸周辺にまつわる質問を募り、その回答を各方面の専門の方々伺いました。



アサリ採りをする地元出身の片桐製吉さん。生態系への配慮から、稚貝を残しています

Q 蒲生海岸の堤防建設の進捗は？ 有事の際に干潟や河口、海岸から緊急避難できるように堤防に階段はつくってもらえるのか？ 干潟に藻が繁殖しているが、水の出入りがあるのかも気になる。また、日和山は再築されるのか？（高橋孝蔵さん／蒲生）

A 海岸堤防建設については、現在は用地買収の準備段階です。七月末から用地境界の立ち合いと確認をしているところで、階段は設置計画があります。潟湖の水の出入りが少ないのは、



七北田川の河口部右岸、南蒲生浄化センター東側の海岸堤防は、今年3月に完成しています

七北田川と潟湖を結ぶ導流堤の下部に設置してある管が埋まっていることが原因として考えられます。そこも堤防と一体の工事範囲となり、新たに配管する計画です。日和山については災害復旧工事での再築はできませんが、地元要望が強い場合は何らかの検討を行います。（仙台土木事務所河川部・関裕介さん）

Q 干潟や河口周辺にアサリや鳥などの生き物は戻って来ているのか？（我妻英樹さん／和田）

A 鳥獣保護区特別保護地区である干潟の回復力には、目を見張るものがありました。津波により一時は流出してしまった砂浜が、波に寄せられた砂が堆積することで復活し、再び潟湖が形成されるなど、少しずつ以前の地形に戻りつつあります。水生生物はアサリやゴカイ、カニ類の姿が戻ってきた一方で、



食べ物をついばむダイサギ。干潟にはえさとなるカレイの稚魚が沢山育っています

Q 以前は町内会で海の日に海岸清掃をしていた。今、海岸ごみはどうなっているの？（大学ちえ子さん／蒲生）

A 砂浜を歩くと小さなごみがチラシホラと目に入る一方、大きなごみは見当たらずなくなっています。

昨年度までは音響探査機を使って、海底からコンテナなど大きな流出物を引き揚げていました。今後は砂浜にがれきなどが揚げられた場合は、撤去をしていきます。（仙台土木事務所河川部・関さん）

また、サーフィン愛好家のまとめ役である「サーフショップユニオン」代表の澤地聡さんは、多くの人に声掛けをして海岸清掃を定期的に行うなど、海岸の環境を改善する活動をしています。



サーフィンをする人の姿が戻ってきた蒲生海岸。今年の夏には大会も開かれました

Q サーフィンをしていて波をかぶった時に、水と混じった泥が臭いと感じる。水質の向上は今後あり得るのか。（鈴木祐司さん／和田）

A 多分、腐敗した固形物の堆積土の巻き上がり原因だと思います。震災で処理機能に壊滅的な被害を受けた南蒲生浄化センターですが、現在



浄化センターによる不眠不休の下水処理により、水質環境の安定が図られています

は接触酸化法という大規模処理場では初めてとなる生物膜処理法を実施、環境基準を満たす処理水を放流し、大腸菌群数も基準値を満たしています。新水処理施設は平成二十七年年度末に完成を予定しています。完成すれば更に水質が向上した処理水が海に放流されることとなります。（南蒲生浄化センター・石川敬治さん）

水質については、宮城県公衆衛生協会に毎月サーフポイントの砂と水を持参して調査をしています。最近、蒲生海岸の水質は良好でセシウムも不検出です。海と

干潟内の水は高めの塩分濃度で推移しているため、低塩分を好む生物が棲みづらい環境となつています。震災直後に観察された鳥類の種数は、以前に比べ半減しましたが、昨年四月には八十割まで回復。多くは採食や休息の場として干潟を利用する水鳥です。一方、松林やヨシ原、海浜植物など、失われた植物群落を採食や休息に利用していた陸鳥の姿は減つたままですね。（蒲生を守る会・熊谷佳二さん）

上手に付き合っていきたいですね。（サーフショップユニオン・澤地さん）

干潟の生物の食物連鎖がしっかり機能することによって成り立つ高い浄化作用が、周辺の川や海の汚れを次第に取り除いていきます。水質改善のためにもできるだけ干潟に立ち入らず、そっと生物の営みを静観する姿勢が大切ですね。（蒲生を守る会・熊谷さん）

Q 貞山堀を改めて掘って復興のシンボルにするような計画はあるのか？（佐藤政信さん／港）

A ささまざまな課題がありますが、御舟入堀や舟溜まりなどの遺構復元を求める声は多くあります。今年五月策定の「貞山運河再生・復興ビジョン」では、百年先を見据えた観点で官民連携による復元に向けた社会的機運の高まりを期待し、関係機関と連携してくこととしています。（宮城県土木部河川課）

蒲生海岸周辺では海岸堤防や南蒲生浄化センターの復旧工事が進められ、そこに関わる人たちがより良い未来のために頑張っています。蒲生干潟では自然の力によって生物が戻りつつあります。人の力と自然の力を合わせて、蒲生海岸の未来が形づくられていきます。

みらい編集部は、毎日読者の皆さんと一緒にさまざまな催しや出来事に参加し、取材しています。その一部をご紹介します。

●23日(日) 南蒲生町内まち歩き会
(南蒲生町内)



「地域整備の共通認識をもと」と、地域の皆さんと市職員が町内を実際に歩きながら、避難道路の道幅を計ったり、むき出しの側溝や陥没箇所、街灯の不足などを確認し合いました。

●23日(日) 蒲生町内会「お茶、飲まねすか!」
(しらとり幼稚園)



「お茶飲んで話をするだけじゃ、人が集まらない」。昨春の会合に参加してくれた住民の声を反映して、今回はさまざまな演目が用意されました。その甲斐あってか、約100名が参加。向田町内会長高橋さんのご厚意で懐かしい蒲生の画像を観賞したり、震災後の交流から発展した「はまなす蒲生・港の会」の女性たちと中野児童館館長による合唱演奏では、「飛び入りの舞」が披露されるなど、大歓声が響き渡る3時間半となりました。

の舞」が披露されるなど、大歓声が響き渡る3時間半となりました。

わたしの近況報告

第14回

このコーナーでは、中野・岡田地区出身で現在は借り上げ民間賃貸住宅などにお住まいの方々にリレー形式でご登場いただきます。



阿部さんご一家(岡田・南蒲生)
(左から)松子さん、東助さん

悔しさと悲しみを忘れない

「おばあちゃん(母)、息子、女房の妹と5人暮らしだったんです」と、唇をかみしめながら震災当時を振り返る東助さん。3月11日は東助さんの誕生日で、そのお祝いを兼ねて母の節子さん、妻の松子さんと3

人で名取市閑上で食事をし、自宅に戻った矢先の東日本大震災。あつという間に黒い波が自宅を襲いました。「津波の経験がないから、悠長に構えていた。母と妹が津波にやられました」。夫妻はその悔しさと悲しみを忘れず、「生死紙一重」の経験を教訓としています。勤務先で被災した長男の博樹さんとは震災翌日に再会でき、その後は3人で暮らすアパートを探しながら、長女・美紀さん家族の住まいで約1ヵ月お世話になりました。

“南蒲生の端っこ”で憩い暮らす

木ノ下の借り上げ民間賃貸住宅で暮らす間、阿部さん夫妻は再建にあたってさまざまな葛藤(じこつれい)があり悩んだと言います。松子さんは専能寺の「定例」に毎月参加して地

域の方々と交流を図り、2012年1月から町内会の会計を任された東助さんは、「おかげで町内会や行政の動きが把握できた」とやり甲斐を感じています。このように地域を離れていた間も繋がりが途絶えなかった夫妻は、「この土地を空けるのはもったくないし、新たに土地を買わなくて済む。何より町内の人々とのコミュニティを保ちたかった」と現地再建を決め、今年6月、南蒲生に戻ったのです。

自宅に隣接する畑で勢いよく育つ夏野菜を見ながら、「農作業すると気分がいいですよ」と松子さんが語れば、「退職後に農業の喜びを知った」という東助さんが笑顔で頷きました。「南蒲生の端っこ」で、町の灯りが少しずつ増えることを静かに願う阿部さん一家です。

読者から
ひとこと

●今、八十五才です！ 老人クラブは八十才で引退したの。近所のお友だちが震災で皆死んじゃって、それが一番さびしい。最近ね、夕飯を食べた後に窓から仙台南港の灯りを眺めるのが楽しみなの。新浜に嫁いでからは実家(日辺)で見ていた灯りの景色が懐かしかったから、「いいな」と思って、毎晩楽しみます。
平山みよ子さん

●新浜にも建つ家がだんだんと増えてうれいね。でも、近所にお店がないのは不便。買物物は、田んぼの道路を通りながら七郷のスーパーへ行くことが多いです。「水が不足してないか」とか、買物物の行き帰りに田んぼの様子が見られるからね。平山造子さん

●行政の方には津波対策はもちろんお願いしたいのですが、毎年心配な台風や洪水などの対策も練っていたいただきたいと思えますね。
平山富子さん

まちの語り場

南蒲生復興部

個々の生活再建と復興を迅速に進めるため、南蒲生独自の復興まちづくりを進めています。

七月十七日(水)定例会議

内容

- 各プロジェクトの進捗報告と検討
- 今後の予定

当日の様子

このほど南蒲生に開業した農業生産法人「みちさき」に関して、町内からも雇用があり、野菜の出荷が始まったことの報告がありました。また、五月の町内世帯状況調査の結果を踏まえて要援護者などの所在を把握し、今秋に実施予定の避難訓練での災害救援に活かしていくことが確認されました。仙台平野「みんなの居久根」創出プロジェクトでは、町内外の支援者などが集まり、楽しみながら活動の拠りどころとなる仕組みづくりをして、「新しい田舎」を目指していく意向が示されました。



問い合わせ先
代表 芳賀正 080-1663-7382
会合は随時開催
住民説明報告会
毎月最終日曜日 岡田西町仮設住宅集会所

新浜町内会復興部委員会

安全安心を基本方針に、新浜の復興再建に重点を置いたまちづくりを目指しています。

七月二十日(土)定例会議

内容

- 町内の公共施設整備の要望箇所について
- 「地域在住婦人向けの集い」実施について

当日の様子

七月末、地域の公共施設整備促進の要望を高砂連合町内会に提出するにあたり、町内会役員が地域を視察してまとめた整備要望箇所について話し合いました。要望事項のひとつ、町内の移転予定者の宅地を農業従事者以外でも住宅地として取得できる仕組みの設定について、市街化調整区域であっても希望者が転入居住できるように要望をあげていくことが確認されました。他に、用水路や側溝の閉塞箇所の解消や流失した蓋の復旧、通学路への大型車侵入禁止の交通標識設置などの事項も話し合われました。



問い合わせ先
代表 遠藤芳広 090-2020-4002
会合は随時開催
新浜仮設集会所

中野小学校区
復興対策委員会

中野地区四町内会(港、蒲生、西原、和田)が「丸」となり、復興に向けた活動を行っています。

七月七日(日)定例、二十日(土)臨時会議

内容

- 河川堤防改修事業(嵩上げ)について
- 復興事業局から説明と報告

当日の様子

仙台土木事務所から「河川堤防改修事業(嵩上げ)」について説明がありました。復興事業局からは、個別相談会で復興公営住宅に関する相談が増えている状況が報告されました。震災復興メモリアル等については、記録物も含めて検討していく方針の説明もありました。さらに、前回、委員会側から質問・要望された消費税率引き上げなど四項目への回答がありました。

二十日には、会議に参加した根本復興大臣へ「東日本大震災被災者支援の拡充を求める要望書」が委員会側より提出されました。



問い合わせ先
委員長 高橋實 022-258-3068
定例会議
毎月第1、第3日曜日 16:00~
鶴巻1丁目東公園仮設住宅集会所

※記載している内容は、各開催日現在での情報です。最新の情報については各団体へお問い合わせください

リルーツの農地再生支援

東日本大震災から二年。今、さまざまなかたちで支援が続いている方々があります。地域に根づいて支援を続ける方々は、どんな思いで活動しているのでしょうか。被災地で取材を続ける情報ボランティア@仙台の大学生記者が取材しました。

若林区沿岸部で、津波被害に遭った農地の再生に取り組み地元大学生主体のボランティアグループ「リルーツ」は、今なお現場で汗する団体の一つです。コンセプトは「復旧から復興へ、そして地域おこしまで」。二〇一一年四月の始動以来、盆や正月を除き、ほぼ休みなく活動しています。

す。人海戦術のマンパワーはもちろん、常に相手の立場を考えた支援は、復興に挑む農家の



ボランティアの作業風景。この日はネギ畑の雑草をきれいに取り除きました

の確かな支えとなってきました。

農地再生の実際の作業は極めて地味です。耕作再開の妨げとなる石やガラス片などを掘り出しては拾い、雑草を刈る。被災農地の広大さを思うと、気が遠くなる作業です。全国延べ二十万人以上のボランティアの力を結集し、これまで地元農家三百五十件以上のSOSにこたえてきました。

「リルーツがいなかったら、ここまで来るのにも二年はかかっていた」というのが、地元農家の評価で

「行政施策はどうしてもハード面に偏りがちです。でも、それだけでは農家は蘇っても農村コミュニティに開くアンテナナシヨップ」りるまあと「で直売もしています。

「行政施策はどうしてもハード面に偏りがちです。でも、それだけでは農家は蘇っても農村コミュニティに開くアンテナナシヨップ」りるまあと「で直売もしています。

育てて、つながっていききたいんです」。唯一の社会人で、約五十人の大学生メンバーを率いる広瀬剛史代表の願いです。

従来、農業や農村からは遠い存在と思っていた若者の献身的な働きを地元は喜んでいきます。リルーツの協力で畑作を再開できた若林区三本塚の佐藤勝五郎さんは「若い人の頑張りに心底感動した。自分もこのままでは終われないと思ったわけよ」と笑います。卒寿を過ぎてても何のその。今春からはリルーツの市民参加企画「さつまいもプロジェクト」で栽培指導役を務め、ひ孫

「さつまいもプロジェクト」で栽培指導役を務め、ひ孫離れた大学生らと一緒



ボランティアハウスの前で、リルーツの取り組みについて語る代表の広瀬さん

に地域おこしに励んでいます。

広瀬さんは言います。「目先の必要なことを手当するボランティアもいれば、先々を考えて動く支援者もいます。一方で、被災した人の中にも『地域をどうするか』を発想できる人もいます。支援する側もされる側も今後一層、質や姿勢が問われますね」。復興のこれからを考える上で、実践者の言葉は重くずしりと響きます。

支援内容

農地再生(津波浸水農地のがれき除去)、農作業手伝いなど支援を希望する方は下記へお問い合わせください。

問い合わせ

一般社団法人 ReRoots(リルーツ)
TEL 022-762-8211

情報掲示板

仮設住宅やご近所で開催される催し物や相談会、支援団体による支援情報などを紹介します。

企画展「なつかし仙台3 いつか見た街・人・暮らし」

仙台地方の人々の街・人・暮らしを中心に、明治・大正・昭和はじめ・戦後・現代に至る写真や絵はがきなどの映像資料を取り上げます。8月中は、震災直後から定点観測されたテーマ展示も行います。

対象 どなたでも入場できます

時 開催中(11月4日(月・祝)まで)9:00~16:45

※月曜日(祝日を除く)、休日の翌日(土・日曜日、祝日を除く)、第4木曜日は休館

場所 仙台市歴史民俗資料館

入館料 一般・大学生200円、高校生150円、小・中学生100円

【館内テーマ展示「3.11キヲクのキロク、そしてイマ。」ポスター展】(NPO法人20世紀アーカイブ仙台)

東日本大震災直後に撮影した写真と定点観測された現在の写真を紹介します。

時 開催中(8月25日(日)まで)9:00~16:45

問 022-295-3956 仙台市歴史民俗資料館

健康応援団

健康についての講座や相談を行っています。地域の自主グループなどの運動の日もあります。(日程変更あり。詳しくは問い合わせを)

対象 どなたでも参加できます

時・所 各仮設住宅集会所

- ▼高砂1丁目公園 8月23日(金)10:00~9月4日(水)10:00~
- ▼鶴巻1丁目東公園 8月6日(火)13:00~9月3日(火)13:00~
- ▼福田町南1丁目公園 8月19日(月)10:00~9月2日(月)10:00~
- ▼岡田西町公園 8月6日(火)13:30~8月22日(木)10:00~
- ▼港南西公園 9月6日(金)10:00~
- ▼仙台港背後地6号公園 8月21日(水)10:00~
- ▼扇町1丁目公園 8月9日(金)13:30~
- ▼扇町4丁目公園 8月7日(水)10:00~

問 022-291-2111(内線6782、6784)宮城野区家庭健康課健康増進係

支えあいセンターからのお知らせ

借り上げ民間賃貸住宅(以下、みなし仮設)にお住まいの方を支援する支えあいセンター主催の、おすすめサロン・イベント情報です。すべて参加無料。

サロン・イベント名	対象	時	時間	会場	内容	申込	問い合わせ
らくらくリフレッシュ in 宮城野	宮城野区のみなし仮設にお住まいの方	8月7日(水)	10:00~12:00	宮城野区中央市民センター	無理なく、楽しくできる健康運動	要(電話)	支えあいセンターみやぎの022-292-0990
プラササロン	福祉プラザ付近にお住まいの方	8月21日(水)	13:00~15:00	福祉プラザ9階大広間2	風呂敷包みの会(包み方のアレンジを楽しみます)	要(電話)	支えあいセンターあおば022-217-7234
納涼支えあい夏まつり	若林区のみなし仮設にお住まいの方	8月22日(木)	10:00~12:00	若林区中央市民センター別棟	夏祭り(水風船・パルーンアート・輪投げ・模擬店他盛りだくさん)	要(はがき案内による電話申込)	支えあいセンターわかばやし022-781-0559
ほのほの中央サロン	太白区のみなし仮設にお住まいの方	8月24日(土)	10:00~12:00	太白区中央市民センター	落語と小唄(日本笑い学会楽家笑遊さん)	要(電話)	支えあいセンターたいはく022-217-7234
泉中央サロン	泉区のみなし仮設にお住まいの方	8月28日(水)	10:00~12:00	泉区中央市民センター	風呂敷包みの会(包み方のアレンジを楽しみます)	不要	支えあいセンターいずみ022-772-5755

※その他の交流サロンについては、支えあいセンターからのダイレクトメールでご確認ください

津波で流出した写真などをお返しします

東日本大震災の津波被害地域(宮城野区・若林区)でのがれき処理作業中に回収された写真、アルバム、賞状など思い出の品を洗浄しました。期間中に品物の展示・返却を行います。

対象 どなたでも入場できます

時 8月15日(木)~25日(日)10:00~17:00 ※19日(月)は休館

場所 宮城野区中央市民センター体育館(宮城野区五輪2-12-70 宮城野区役所隣)

主催 震災復興ボランティア団体おもいでかえる、仙台市

問 022-214-3108 仙台市消防局防災企画課、減災推進課

仮設住宅の夏祭り

仙台港背後地6号公園仮設住宅自治会が主催する夏祭りが開催されます。近隣の借り上げ民間賃貸住宅にお住まいの方も是非お越しください。数に限りがありますが、提供品も用意しています。

対象 仙台港背後地6号公園仮設住宅と近隣の借り上げ民間賃貸住宅にお住まいの方

時 8月11日(日)11:00~15:00(少雨決行)

場所 仙台港背後地6号公園仮設住宅広場

内容 エレキバンド、チアガール、すずめ踊り、どじょうすくい、三味線演奏、歌、剣舞など。集会所で絵画展&全体も同時開催します

参加費 500円(当日現地で徴収)

問 090-7935-8557 佐藤修一

第36回「高砂市民センターまつり」

参加団体および支援スタッフ募集

10月26日(土)、27日(日)「高砂市民センターまつり」が開催されます。各サークルや地域の皆さん、ふるってご参加ください。

募集部門 「ステージ」「出店・縁日」「展示」「支援スタッフ」「フリーマーケット」の5部門で参加する方を募集しています

申込方法 センターに設置してある各部門の申込書に記入し、8月18日(日)まで窓口またはFAXで申し込みください

参加費 市民センターまつり協力金 1口1,000円以上

参加条件 センターまつり分科会、実行委員会の出席と、まつりの会場準備・片付けなどの協力をいただける方

問 022-258-1010 FAX022-259-7577 高砂市民センター

徳照寺 住職

佐藤 和丸

ある老人クラブの方々にお願ひして、次の件
に関して統計を取ってみた時の意外な結果のお
話です。

今、自分が持つてゐる大切な財産と思へるもの
を全部書き出してもらひ、次に消しゴムを各
自にお渡しして、本当は失ひたくないが無くて
も、まっ、生きて行けるといふもの、ずっと所有
してゐたいけど失つても仕方ないものを次々に
消してもらひ、結局最後に残つたのが全員共通
して、夫、妻、子、孫、肉親、友人といふ人間を
意味するものだけだつたさうです。

この統計を取つた人の結論は「人間は人無くし
ては生きて行けない存在である」といふことでし
た。さう遠くない将来、核戦争が勃発した時に
自分だけ生き残らうとして、強固な核シェルター
を自宅の地下に作つたといふ人がゐると聞いた
ことがありますが、想像してみても下さい。世界
中の人々が全員核の犠牲になり壊滅したあとの
世界に、ポツンと独り地上に立ち尽くしてゐる
様相を。恐らくこの人は生きて行けないでせう。
こんなにも人間好きの私達なのに、一方では
生きて行けなくなるほどの苦悩もまた、この人
間との関係から生じるのですもんねえ。

佐藤和丸(さとう かずまる)

若林区日辺の浄土真宗大谷派・徳照寺住職。情報誌への執筆や居酒屋での説法会などを行う、ユニークな人柄と行動力の持ち主。

クロスワードパズル

出題 石田竹久

こたえ

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

1	2	3	4	5	
	D				
6		7	8		
			B		
		9	10		11
12	13		14		
	16	17			
18			19		20
				A	
		21			
		E			

タテのカギ

- ①8月20日、光と水と音の祭典、「広瀬川〇〇〇〇流し」が開催されます
- ②浜辺を歩くと踏みしめず
- ④8月15、16日、瑞巖寺や五大堂周辺などで、「〇〇〇〇流灯会 海の盆」が開かれます
- ⑤鳴瀬川の通る加美町には、〇〇の里公園や〇〇の里物産館があります
- ⑦あわれみ、いつくしむ心
- ⑩〇〇〇骨とは、一家を支えていくもの
- ⑪定義山に行くと、羽衣をまとったような「天女の〇〇」が見られます
- ⑬武芸や学問などの先生
- ⑮力士の名前
- ⑰運転中のご法度のひとつ。まっすぐ前を向きましょう
- ⑱石巻市の離島でもついに海開き、〇〇白浜海水浴場
- ⑲〇〇が付くといえば、貫禄が出ること
- ⑳仙台トラストタワーをはじめ、仙台市には東北地方でも屈指の高層〇〇が並びます

ヨコのカギ

- ①投げたコインの裏表で物事を決定
- ③「山間」を「さんかん」とは読まずに…
- ⑥首の後ろの部分
- ⑧夏の直前はジトジトとこの時期でした
- ⑨仙台市が発祥の地とされる〇〇〇中華。暑い季節には手づくりされる家庭が多いことでしょう
- ⑫仙台市においても、松阪や神戸などと並んで高級ブランドの肉が
- ⑭ことわざ。三つ子の〇〇〇〇百まで
- ⑯この6月より、仙台空港と〇〇〇のホノルル国際空港を結ぶ直行便が就航しています
- ⑰覚えて頭に入れること
- ⑲楽天イーグルスの8月25日までのホームゲームでは、5回裏終了後に約1分間、〇〇〇が打ち上がります
- ⑳奥州の高野山といわれる、登米市の〇〇〇寺では、8月15、16日に「〇〇〇尊大祭」が行なわれます

前回のこたえ

A ミ B ナ C ツ D キ

でした。

1	エ	キ	2	シ	3	ヤ	4	ウ
	ダ		5	カ	ソ	6	7	ケ
7	マ	ツ	タ	8	オ	チ		
	メ		9	ナ	イ	ン	10	ア
		11	ホ	シ	12	セ	イ	ジ
13	ミ	コ	14	バ	ン			サ
15	キ	ラ	16	カ	イ			

編集後記

水分補給していますか？ 節電対策で冷房などを我慢しすぎていませんか？ 体調管理に声をかけ合ひましょね。私は日本人ならではのパワー食材、梅干しを毎日いただいています。(芳賀)

一体、梅雨明けはいつになるのでしょうか。夏は夏らしくゲンナリするくらい暑いのが好みます。この号が皆さんに届く頃には、ビールが美味しく感じられるくらいになっているといいなあ。(おおが)

お住まいを移転される方へ

お住まいを移転されると、移転先に「みらいん」が届かなくなる可能性があります。引越し後も引き続き購読を希望される方は、編集部までご一報ください。

宛先：〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-12 「みらいん」編集部
TEL：022-390-5755
FAX：022-390-5756 e-mail：kawara@meeee.or.jp